

家具・クラフト市で新たな出会い



▲「この椅子、全然ストレスないよ!」



▶お父さんと一緒に初めてのカンナがけ



▲会場の様子

「良い椅子の日」(4月14日) 関連企画の一つとして、4月17日・18日に「家具・クラフト市」を開催しました。町内25の木工業者が一堂に会し、それぞれがこだわりをもって製造する自慢の逸品がせんとびゅあーにズラリ。ご両親に連れられた子どもたちも「いろんなイスあるー!」と興味津々で入場していきま

した。来場者はさまざま使い方があある家具の説明を熱心に聞いたり、椅子の「座り比べ」をして自分に合う一脚を探したり。「ちょうどこのサイズのテーブルが欲しかったの」と運命の出会いもあったようでした。会場ではいくつかのワークショップも実施。テーブルの表面に仕上げのカンナをかける体験では、ちょっと苦戦しつつも少しずつ表面が滑らかになっていきました。自分で使う家具に

自分の手が入ると、より大事に使いたくなりそうですね。「作り手」と「使い手」が家具を通して

て直接言葉を交わすことで「良い出会いの日」にもなった今回のイベント。今後も「椅子の日」関連企画を行う予定なので、地元の「家具・クラフト文化」に触れてみませんか?

好きな椅子で、好きな人と写真を

5月14日・16日、文化ギャラリースタジオで「お気に入りの椅子と記念写真を撮ろう!」を開催しました。4月14日「椅子の日」制定の記念企画の一つで、計69組が参加。町内事業所が手がけた57点の素敵な椅子の中からお気に入りの一脚を選んで、カメラの前で家族や友人と記念の一枚を撮影。満面の笑顔で、自然体で、ポーズをキメて、ペアルックで、

人体にフィットする三次元曲面プラスチックの椅子の歴史

5月14日、せんとびゅあーギャラリー1でデザインスクール特別編②を行いました。6月6日(日)まで開催中の展示に合わせ、講師の椅子研究家・織田憲嗣氏が「プラスチックの椅子」を解説。椅子によく使われる「FRP」は、



ガラス繊維と不飽和ポリエステル樹脂からなる素材。この登場までは、体の形に合うように苦労して成形合板やアルミを押し曲げていましたが、FRPにより三次元曲面を簡単に実現可能に。「新素材と科学技術に人の知恵、作家の造形性」が加わって、やっと名作が生まれる」と、新しいデザインが誕生する背景を、展示

現代にあふれるプラスチックは便利・早い・安い反面、再利用されずに捨てられてしまう。一人一人に問題意識をもって日々の生活を送ってほしい」とメッセージを伝えました。4月14日の「良い椅子の日」記念に続くこの「椅子の日」に、椅子のお話シリーズは、今後も毎月14日に開催予定です。



▲中田さん一家(5月15日)。どんな1枚に仕上がったかは写真展でご覧ください!

時には椅子には座らずに。町内の写真家4名(飯塚達矢さん、大塚友記憲さん、清水エリさん、和田北斗さん)がみなさんの表情を引き出し、ベストなショットをハシヤリ。どの写真も「ヒト」と「イス」の双方が際立つ作品に仕上がっており、椅子のデザインとみなさんのアイディアには驚

ブスで展示します。見ていただけで笑顔になってしまふこと間違いなしなので、ぜひお越しください。(観覧無料)